

方剂名	効能	生薬組成
書籍	主治および証	病機 方意
<p>温裏剤 回陽救逆剤 3</p>		
<p>じんぶとう 参附湯</p>	<p>回陽固脱</p>	<p>人参 9g・炮附子 6g 水煎し服用する。</p>
<p>正体類要</p>	<p><主治> 陽気暴脱 手足の冷え、冷や汗が止まらない、呼吸が微弱、脈が微弱などを呈す。</p> <p><病機> 陽気がまさに脱衰しそうになったショック状態である。 陽気が四肢に行らないために冷え、固表できないために汗が漏れて止まらず、心・肺の機能も微弱になり呼吸、脈共に微かになる。放置すれば死に至る。</p> <p><方意> 救急固脱して危急状態をしのぐべきで、大温大補が必要である。 甘温の人参を大量に用いて後天の元気を固め、大辛大熱の附子で先天の腎陽を温壮にし、脾・腎の陽気を固脱して心・肺の陽気を回復させる。</p> <p><参考> 本方（参附湯）は救急に用い、病状が安定すれば弁証論治して他方に切り替えるべきである。純陽の方剂であるから、多服すると助火傷陰耗血する恐がある。 大病の極虚欲脱、産後血暈、暴崩、血脱亡陽、癰瘍久潰などに応用する。</p>	